SHARP

形名： MX-2000F

プリンタガイド

もくじ

本書の記載内容について 2
- 取扱説明書の種類について 3

本機のプリンタ機能について 4

1 プリントする

基本的なプリントのしかた 5
- 用紙の給紙方法について 7

ユーザー認証機能が設定されている場合のプリント方法 . . . 8
プリンタドライバのヘルプを参照する 10
カラーモードを選択してプリントする 11
用紙の両面にプリントする 13
用紙のサイズに合わせてプリントする 15
1ページに複数ページのデータをプリントする 17
用紙をステープルでとじる／パンチ穴をあける . . . 19

2 便利なプリント機能について

冊子やポスターの作成に役立つ仕上げ機能 21
- 中とじの冊子を作る（中とじ） 21
- とじしろを作ってプリントする（とじしろ） 22
- 大判のポスターを作る（ポスタープリント） 22

データのサイズや向きなどを補正する機能 23
- データを180度回転させてプリントする（180° 回転して印刷） 23
- データを拡大・縮小してプリントする（ズーム） 23
- 線幅を調節してプリントする（線幅調整） 24

カラーモード調整機能 25
- 画像の明るさやコントラストを調整してプリントする （イメージ調整） 25
- 薄くて見づらい文字や線を黒色でプリントする（文字を黒色で印刷する／線を黒色で印刷する） 25
- データに応じたカラー設定でプリントする（原稿タイプ） 26

文字や画像の合成機能 27
- すかし文字を入れてプリントする（ウォーターマーク） 27
- 画像をデータに重ねてプリントする（イメージスタンプ） 28
- 定型フォームを作成してプリントデータを重ねる （オーバーレイプリント） 29

特殊な用途に使えるプリント機能 30
- 特定のページを異なる用紙でプリントする（用紙挿入） 30
- OHPフィルムにプリントするときに合い紙を挿入する 31
- 複写伝票のようにプリントする（カーボンコピープリント） 31
- タブ用紙のタブに文字をプリントする（タブプリント） 32

知っておくと便利なプリント機能 33
- 大量のプリントデータを2台に分けてプリントする （タンデムプリント） 33
- プリントデータを保存して使用する （リテンション／ドキュメントファイリング） 34

よく使うプリント設定を登録して使用する 35
- プリント時に設定した内容を登録する 35
- 登録した設定を使用してプリントする 37

プリンタドライバの初期設定値を変更する 38

3 プリンタドライバを介さずにプリントする

本機からファイルを直接プリントする 40
- FTPサーバ上のファイルを直接プリントする . . . 40
- USBメモリー内のファイルを直接プリントする . . . 42

コンピュータからファイルを直接プリントする . . . 44
- プリントジョブの送信 44
- FTPプリント 44
- E-mailプリント 45

4 こんなときは

優先的にプリントする／プリントを中止する 46
- 優先的にプリントする 46
- プリントを中止する 47

用紙切れのときに他の用紙サイズに切り替えてプリントする 48

5 プリンタドライバの仕様

プリンタドライバ仕様一覧 49

本書の記載内容について

お願い

- この取扱説明書に記載のドライバおよびソフトウェアのインストールについては、ソフトウェアセットアップガイドを参照してください。
- OS（オペレーティングシステム）に関する事がらについては、必要に応じてOSの説明書またはヘルプ機能を参照してください。
- この取扱説明書では、画面の説明や操作手順は、Windows® XPでお使いになる場合を主体に説明しています。OS（オペレーティングシステム）のバージョンにより表示される画面が異なることがあります。
- この取扱説明書は内容について十分注意し作成しておりますが、万一ご使用中にご不審な点・お気付きのことがありましたら、セーフティーガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはセーフティーガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品および別売品の使用誤りや、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- この取扱説明書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することを禁止します。
- この取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

本文中で説明しているイラスト、操作パネル、タッチパネルについて

この取扱説明書では、本機に右トレイと2段給紙デスクを装着した状態で説明しています。さらに機能や使いかたを説明するために、それ以外の周辺装置を装着した状態で説明している場合があります。

取扱説明書に記載している操作画面、表示されるメッセージ、キー名称などは改良変更などにより実際の表示と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

取扱説明書の種類について

本機には、印刷物の取扱説明書と内蔵ハードディスクに格納されたPDF形式の取扱説明書が付属しています。本機を使用する際に該当する取扱説明書をお読みいただき、本機の機能や使用方法をご確認ください。

印刷物の取扱説明書

取扱説明書名	記載内容
セーフティーガイド	本機を安全にお使いいただくための注意事項や、本機と周辺装置の仕様について記載しています。
ソフトウェアセットアップガイド	本機をプリンタやスキャナとして使用するために必要な、ソフトウェアのインストール方法および設定方法について記載しています。
かんたん操作ガイド	本機で使用できる機能をわかりやすく1冊にまとめた取扱説明書です。 各機能の詳細な説明については、PDF形式の取扱説明書に記載しています。
困ったときのガイド	紙づまりの対処法や、本機の操作に関してよくあるご質問についての対処法を機能別に解説しています。本機の使用方法についてお困りの際にお読みください。

PDF形式の取扱説明書

PDF形式の取扱説明書は、本機の詳細な操作方法を機能別に記載しています。PDF形式の取扱説明書を参照するときは、本機の内蔵ハードディスクからダウンロードしてください。ダウンロード方法については、かんたん操作ガイドの「PDF形式の取扱説明書をダウンロードする方法」を参照してください。

取扱説明書名	記載内容
ユーザーズガイド	基本的な操作方法、用紙の補給方法、機器のお手入れなどについて詳しく記載しています。
コピーガイド	コピー機能の操作方法について詳しく記載しています。
プリンタガイド（本書）	プリンタ機能の操作方法について詳しく記載しています。
ファクスガイド	ファクス機能の操作方法や、ファクス機能に関するシステム設定について詳しく記載しています。
スキャナガイド	スキャナ機能やインターネットFax機能の操作方法について詳しく記載しています。
ドキュメントファイリングガイド	ドキュメントファイリング機能の操作方法について詳しく記載しています。ドキュメントファイリング機能は、原稿やプリントデータを内蔵ハードディスクに読み込んで保存しておき、必要に応じて再利用できる機能です。
システム設定ガイド	お客様の使用目的や使用状況に応じてさまざまな設定を行ったり、本機の設定状態を表示、プリントすることができる「システム設定」について説明しています。

絵表示について

各取扱説明書で使用している絵表示は、次の事がらを説明しています。

	本機を傷つけたり、故障させる危険がある内容について説明しています。		システム設定の項目名とその内容について説明しています。各項目の詳細についてはシステム設定ガイドを参照してください。 **「システム設定：」と記載している場合** 一般設定の項目について説明しています。 **「システム設定（管理者）：」と記載している場合** 管理者設定の項目について説明しています。
	機能や操作手順について補足説明しています。		
	操作の中止方法や訂正方法について説明しています。		

本機のプリンタ機能について

本機はWindows環境で使用できるフルカラープリント機能を標準装備しています。付属のCD-ROMからプリンタドライバをインストールすることにより、お使いのコンピュータからのプリントが可能になります。
また、本機をさまざまな作業環境で使用できるように拡張キットをご用意しています。
そのため、本機で使用できるプリンタドライバの種類には次のものがあります。拡張キットの装着状態に応じて適切なプリンタドライバを選択して使用してください。プリンタドライバの種類によって使える機能が異なります。
☞ プリンタドライバ仕様一覧（49ページ）

プリンタドライバの種類

SPLC-c： シャープ独自のプリンタドライバです。プリント時にデータを圧縮して送信することにより、スムーズなプリントを可能としています。
（SPLCは、SHARP Printer Language with Compressionの略称です。）

SPDL2-c： シャープの提供するページ記述言語SPDL2に対応したプリンタドライバです。SPLC-cプリンタドライバよりも高機能なプリント処理を行うことができます。
（SPDLは、SHARP Printer Description Languageの略称です。）

SPDL2-cプリンタドライバを使用するには、プリンタ拡張キットと256MB増設メモリーボードが必要です。プリンタ拡張キットを装着したときは、SPLC-cプリンタドライバは使用しないでください。

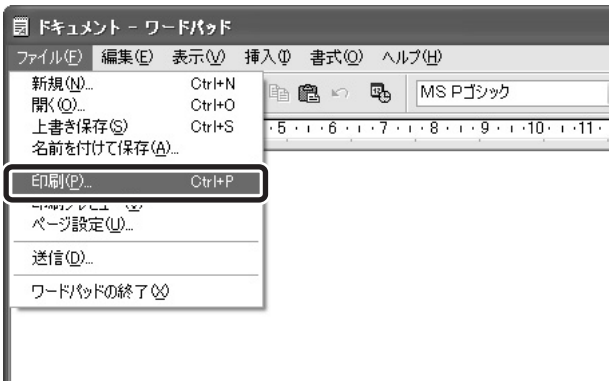
本書のWindows環境でのプリント方法の説明には、おもにSPDL2-cプリンタドライバの画面を使用しています。お使いのプリンタドライバによっては画面の内容が一部異なる場合があります。

1 プリントする

基本的なプリントのしかた

下記の手順は、Windowsに標準で付属しているアプリケーションソフト「ワードパッド」からプリントする場合を例に説明します。

1



ワードパッドの[ファイル]メニューから[印刷]を選択する

プリントを実行するメニューは、[プリント]などお使いのアプリケーションソフトによって異なります。

2

プリンタドライバの設定画面を開く

(1) 本機のプリンタドライバを選択する

- プリンタドライバがアイコンで表示されているときは、使用するプリンタドライバのアイコンをクリックします。
- プリンタドライバ名が一覧で表示されているときは、使用するプリンタドライバ名を一覧から選択します。

(2) [詳細設定]ボタンをクリックする

- Windows 98/Me/NT 4.0をお使いの場合は、[プロパティ]ボタンをクリックします。
- Windows 2000をお使いの場合は、[詳細設定]ボタンは表示されません。「印刷」ダイアログボックスのタブを切り替えて各設定を行います。

プリンタドライバの設定画面を開くためのボタンは、[プロパティ]や[印刷設定]など、お使いのアプリケーションソフトによって異なります。

3

プリント設定を行う

(1) [用紙]タブをクリックする

(2) 用紙サイズを選択する

その他の設定項目は各タブをクリックして切り替えて設定してください。

(3) [OK]ボタンをクリックする

4

[印刷]ボタンをクリックする

プリントが実行されます。
Windows 98/Me/NT 4.0をお使いの場合は、[OK]ボタンをクリックします。

プリントされた用紙は、ジョブ単位ごとに位置をずらして（オフセット機能）排紙トレイに排出されます。（右トレイ以外）

用紙の給紙方法について

ここでは、プリンタドライバ設定画面の[用紙]タブにある「給紙方法」の設定について説明します。
プリントする前に本機の用紙トレイに設定している用紙サイズ、用紙タイプ、用紙残量を確認してください。[詳細]ボタンをクリックすると、最新のトレイ情報を見ることができます。

- **「用紙トレイ」から[自動給紙]を選択したときは…**
「用紙サイズ」、「用紙タイプ」で指定した用紙がセットされたトレイを自動的に選択してプリントします。

- **「用紙トレイ」から[自動給紙]以外を選択したときは…**
「用紙サイズ」の設定に関わらず、指定したトレイにセットされた用紙にプリントします。
[手差し]を選択したときは…
「用紙タイプ」も選択してください。本機の手差しトレイに設定されている用紙タイプを確認し、実際に手差しトレイにその用紙タイプがセットされているか確認したうえで、適切な「用紙タイプ」を選択してください。

- 手差しトレイには、はがきや封筒などの特殊紙もセットできます。手差しトレイに用紙をセットする方法については、ユーザーズガイドの「手差しトレイへの用紙補給」を参照してください。
- 本機のシステム設定（管理者）「手差し指定サイズ検知有効設定」（工場出荷時は無効）や「手差し指定タイプ検知有効設定」（工場出荷時は有効）が有効の場合は、プリンタドライバで指定した用紙サイズまたは用紙タイプと、手差しトレイに設定されている用紙サイズまたは用紙タイプが異なっているとプリントされません。

- **「用紙タイプ」から[自動給紙]を選択したときは…**
「用紙サイズ」で指定したサイズの普通紙または再生紙が設定されているトレイを自動的に選択してプリントします。（工場出荷時は普通紙のみ）

- **「用紙タイプ」から[自動給紙]以外を選択したときは…**
「用紙サイズ」で指定したサイズで、指定したタイプの用紙がセットされたトレイからプリントします。

システム設定（管理者）：自動用紙選択時の手差しトレイ選択禁止
「給紙方法」から[自動給紙]を選択してプリントする場合、手差しトレイにセットされた用紙を対象からはずすかどうか設定します。工場出荷時は設定されていないため、手差しトレイも自動給紙の対象に含まれてしまいます。手差しトレイに特殊紙をセットすることが多い場合は、この機能を有効にしておくことをお勧めします。

ユーザー認証機能が設定されている場合のプリント方法

本機のシステム設定（管理者）でユーザー認証機能が設定されているときは、プリント時にプリンタドライバの設定画面でユーザー情報（ログイン名やパスワードなど）の入力が必要になります。本機を使用するために必要な情報は、設定されている認証方式によって異なりますので、あらかじめ本機の管理者にご確認ください。

1

アプリケーションソフトのプリント画面でプリンタドライバの設定画面を開く

(1) 本機のプリンタドライバを選択する

(2) [詳細設定]ボタンをクリックする

プリンタドライバの設定画面を開くためのボタンは、[プロパティ]や[印刷設定]など、お使いのアプリケーションソフトによって異なります。

2

ログイン名とパスワードを入力する

(1) [ジョブハンドリング]タブをクリックする

(2) ユーザー情報を入力する

- **ログイン名／パスワード方式で認証している場合**
  [ログイン名]および[パスワード]チェックボックスをクリックして☑にし、ログイン名とパスワードを入力します。パスワードは半角1～32文字（英数カナ）で入力してください。
- **ユーザー番号方式で認証している場合**
  [ユーザー番号]チェックボックスをクリックして☑にし、ユーザー番号を半角5～8桁で入力してください。

(3) [OK]ボタンをクリックする

[ジョブ管理を確認する]チェックボックスをクリックして☑にすると、プリント開始前に確認画面を表示させることができます。

3 プリントを実行する

- 通常は、ユーザー情報を入力しなくてもプリントできます。(その場合、プリント枚数は「その他」にカウントされます。)本機のシステム設定(管理者)で無効ユーザーのプリントが禁止されている場合、ユーザー情報を入力しなかったときや、入力をまちがえたときはプリントできません。
- 本機のシステム設定(管理者)でユーザー認証機能が設定されている状態で、ユーザー情報を入力しないでプリントした場合、プリント機能が制限されることがあります。詳しくは、システム設定ガイドの「ユーザー管理」を参照してください。

システム設定(管理者):無効ユーザーの印刷禁止
本機にユーザー情報を登録していないユーザーによるプリントジョブを禁止できます。この機能を設定した場合、ユーザー情報を入力しなかったときや、入力をまちがえたときはプリントできません。

プリンタドライバのヘルプを参照する

プリンタドライバの設定項目についての説明は、プリント時にヘルプを表示してその場で確認することができます。

1

アプリケーションソフトのプリント画面でプリンタドライバの設定画面を開く

(1) 本機のプリンタドライバを選択する

(2) [詳細設定]ボタンをクリックする

プリンタドライバの設定画面を開くためのボタンは、[プロパティ]や[印刷設定]など、お使いのアプリケーションソフトによって異なります。

2

[ヘルプ]ボタンをクリックする

ポップアップヘルプについて

プリンタドライバ設定画面右上の ? ボタンをクリックしたあと設定項目をクリックすると、その設定項目に対するヘルプを参照できます。

また、設定項目を右クリックすると表示される[ヘルプ]ボックスをクリックすることにより、同様のヘルプを参照できます。

インフォメーションアイコンについて

プリンタドライバの設定画面では、設定項目の組み合わせによっては使用できない機能があります。その場合、設定項目にインフォメーションアイコン（ ）が表示されます。このアイコンをクリックすると、制限事項の説明が表示されます。

カラーモードを選択してプリントする

ここでは、プリンタドライバ設定画面[カラー]タブの「カラーモード」を選択してプリントする手順について説明します。「カラーモード」では、次の3つの項目から選択できます。

自動： ページごとに色を判断してプリントします。白黒以外の色が使われているページは Y（イエロー）・M（マゼンタ）・C（シアン）・Bk（ブラック）トナーを使用し、白黒のみが使われているページはBk（ブラック）トナーのみを使用してプリントします。カラーと白黒が混じっている原稿を複数枚プリントするときに便利ですが、プリント速度は遅くなります。

カラー： すべてのページをカラーでプリントします。カラーのデータ、白黒のデータのいずれもY（イエロー）・M（マゼンタ）・C（シアン）・Bk（ブラック）トナーを使用してプリントします。

グレースケール： すべてのページを白黒でプリントします。画像やプレゼンテーション資料など、カラーのデータもBk（ブラック）トナーのみを使用してプリントします。レイアウトの確認や文字校正など、カラープリントする必要のない場合に使用するとカラートナーの節約につながります。

プリンタドライバ[カラー]タブの「カラーモード」で[自動]を選択した場合

プリント結果が白黒であっても、下記のようなプリントデータは、Y（イエロー）・M（マゼンタ）・C（シアン）・Bk（ブラック）の4色のカラーとしてカウントされます。常に白黒としてカウントしたいときは、[グレースケール]を選択してください。

- データがカラーデータとして作成されているとき
- データが白黒であっても、アプリケーションソフトがカラーデータとして扱うとき
- 白黒画像の下に画像が隠れているとき

1

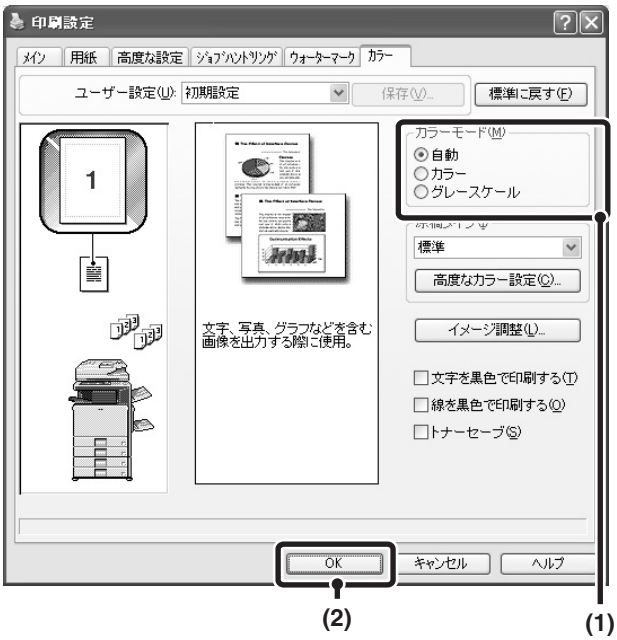
アプリケーションソフトのプリント画面でプリンタドライバの設定画面を開く

(1) 本機のプリンタドライバを選択する

(2) [詳細設定]ボタンをクリックする

プリンタドライバの設定画面を開くためのボタンは、[プロパティ]や[印刷設定]など、お使いのアプリケーションソフトによって異なります。

2



カラーモードを選択する

(1)「カラーモード」を選択する

(2) [OK]ボタンをクリックする

3

プリントを実行する

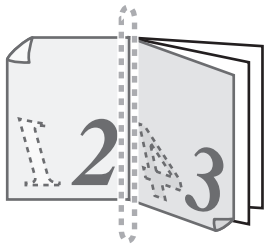
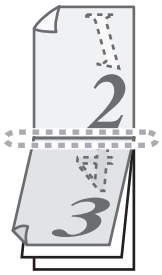
白黒プリントについて

[カラー]タブで設定できる[グレースケール]は、[メイン]タブでも同様に行えます。[メイン]タブにある[白黒印刷]チェックボックスをクリックして☑にしてください。

[メイン]タブにある[白黒印刷]チェックボックスと、[カラー]タブにある「カラーモード」は、連動しています。[メイン]タブにある[白黒印刷]チェックボックスを☑にすると、[カラー]タブの[グレースケール]が選択された状態になります。

用紙の両面にプリントする

本機はデータを用紙の両面にプリントすることができます。かんたんな冊子を作成したいときなどさまざまな用途に使用できます。また、両面プリントは用紙の節約にもなります。

プリント結果	
両面印刷 横とじ	両面印刷 縦とじ
	
用紙の左側または右側でとじることができるようにプリントされます。	用紙の上側でとじることができるようにプリントされます。

1

アプリケーションソフトのプリント画面でプリンタドライバの設定画面を開く

(1) 本機のプリンタドライバを選択する

(2) [詳細設定]ボタンをクリックする

プリンタドライバの設定画面を開くためのボタンは、[プロパティ]や[印刷設定]など、お使いのアプリケーションソフトによって異なります。

2

両面プリントを設定する

(1) [両面印刷 横とじ]または[両面印刷 縦とじ]を選択する

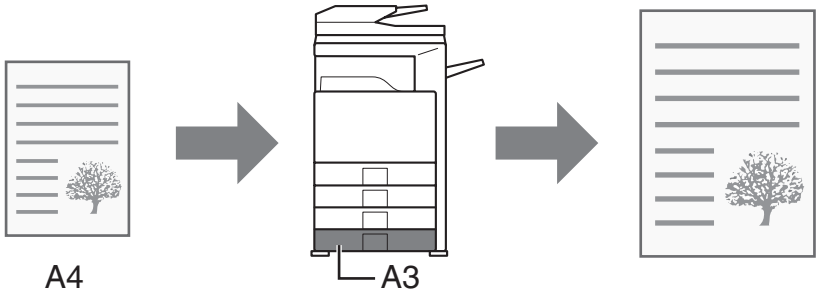
(2) [OK]ボタンをクリックする

3

プリントを実行する

用紙のサイズに合わせてプリントする

本機にセットされている用紙サイズに合わせてデータを自動で拡大または縮小してプリントすることができます。
A4サイズのデータをA3サイズに拡大して見やすくプリントしたり、データと同じサイズの用紙がセットされていない場合にプリントするときなどに使用すると便利です。



下記の手順は、A4サイズのデータを、A3サイズの用紙に合わせてプリントする場合を例に説明しています。

1

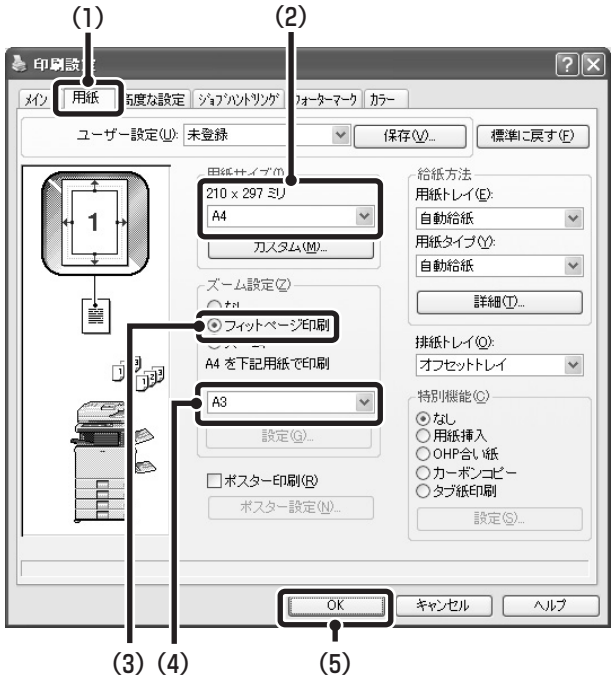
アプリケーションソフトのプリント画面でプリンタドライバの設定画面を開く

(1) 本機のプリンタドライバを選択する

(2) [詳細設定]ボタンをクリックする

プリンタドライバの設定画面を開くためのボタンは、[プロパティ]や[印刷設定]など、お使いのアプリケーションソフトによって異なります。

2



フィットページを設定する

(1) [用紙]タブをクリックする

(2) プリントデータの用紙サイズ（例：A4）を選択する

(3) [フィットページ印刷]を選択する

(4) 実際にプリントする用紙のサイズ（例：A3）を選択する

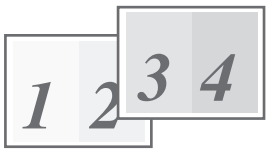
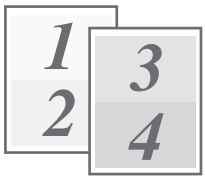
(5) [OK]ボタンをクリックする

3

プリントを実行する

1ページに複数ページのデータをプリントする

プリントする画像を縮小して1ページ上に複数ページを割り付けてプリントすることができます。
写真など複数の画像データを1枚の用紙にプリントしたいときや、用紙を節約したいときに便利です。両面プリント機能と併用すると、さらに用紙を節約することが可能です。
たとえば、[2-Up]または[4-Up]を選択した場合、選択した「順序」メニューによって次に示すようなプリント結果になります。

N-Up	プリント結果		
	左から右へ	右から左へ	上から下へ (印刷の向きが横の場合)
[2-Up]			

N-Up	左上から右方向へ	左上から下方向へ	右上から左方向へ	右上から下方向へ
[4-Up]				

6-Up、8-Up、9-Up、16-Upのプリント順序は4-Upと同様です。
割り付け順序は、プリンタドライバ設定画面のプリントイメージで確認できます。

1

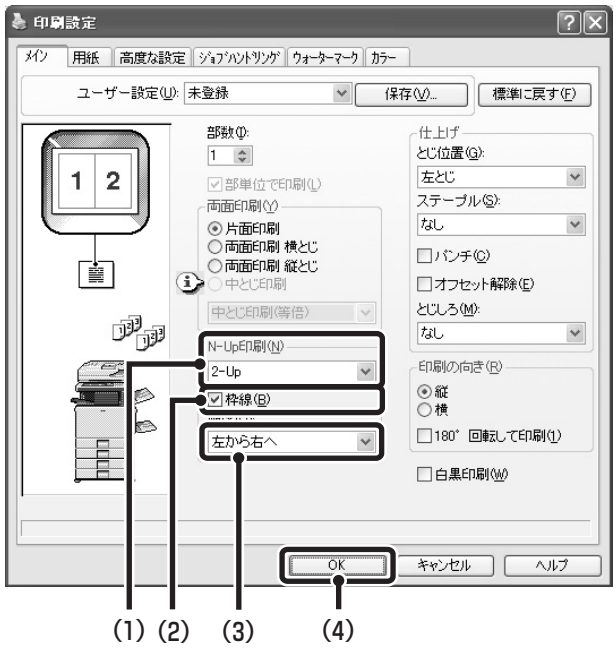
アプリケーションソフトのプリント画面でプリンタドライバの設定画面を開く

(1) 本機のプリンタドライバを選択する

(2) [詳細設定]ボタンをクリックする

プリンタドライバの設定画面を開くためのボタンは、[プロパティ]や[印刷設定]など、お使いのアプリケーションソフトによって異なります。

2



N-Upプリントを設定する

(1) 1ページに割り付けるページ数を選択する

(2) ページの境界線をプリントするときは、[枠線]チェックボックスをクリックして☑にする

(3) 割り付ける順序を選択する

(4) [OK]ボタンをクリックする

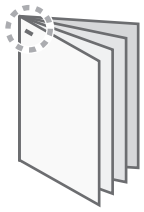
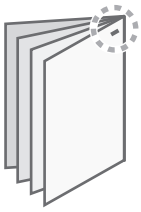
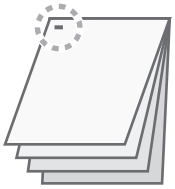
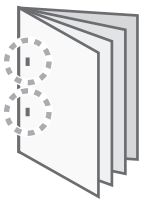
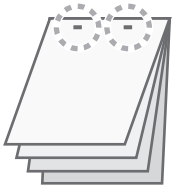
3

プリントを実行する

用紙をステープルでとじる／パンチ穴をあける

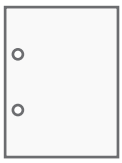
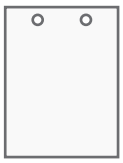
ステープル機能について

用紙をステープルでとじて排紙することができます。
会議用の資料を作成するときなど、ステープル機能を使用すると資料作成の手間を大幅に削減できます。両面プリント機能と併用すると、さらに完成度の高い資料を作成することも可能です。
とじ位置とステープル数を選択することにより、次のようなステープルプリントができます。

ステープル	左とじ	右とじ	上とじ
[1箇所とじ]			
[2箇所とじ]			

パンチ機能について

[パンチ]チェックボックスをクリックして☑にすると、プリントした用紙にパンチ穴をあけて排紙することができます。パンチ穴の位置は、[とじ位置]で設定できます。

左とじ	右とじ	上とじ
		

- ステープル機能を使用するには、フィニッシャーが必要です。
- パンチ機能を使用するには、フィニッシャーにパンチユニットを装着する必要があります。
- ステープルでとじることができる最大枚数は50枚（B4またはフルスキャップ以上のサイズは30枚）です。
- ステープル機能とオフセット機能は同時に使用できません。
- 本機のシステム設定（管理者）でフィニッシャーの使用が禁止されているときは、ステープル機能とパンチ機能は使用できなくなります。
- 本機のシステム設定（管理者）でステープルまたはパンチ機能の使用が禁止されているときは、ステープルまたはパンチでとじることはできません。

1

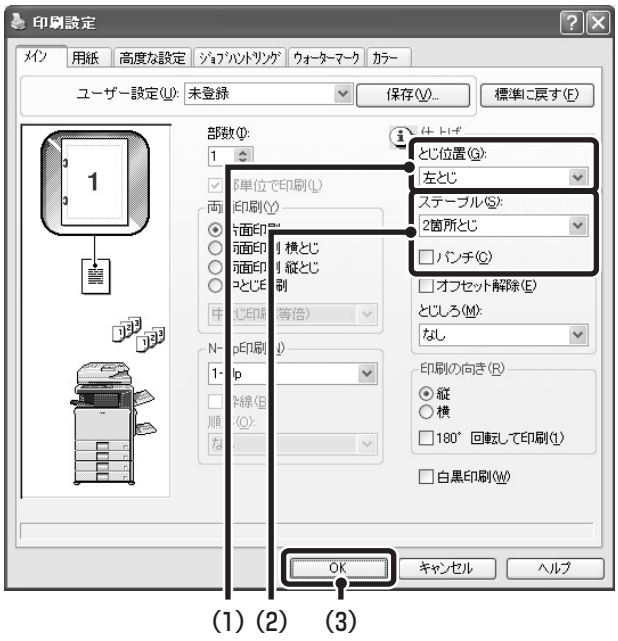
アプリケーションソフトのプリント画面でプリンタドライバの設定画面を開く

(1) 本機のプリンタドライバを選択する

(2) [詳細設定]ボタンをクリックする

プリンタドライバの設定画面を開くためのボタンは、[プロパティ]や[印刷設定]など、お使いのアプリケーションソフトによって異なります。

2



ステープルまたはパンチ機能を設定する

(1) とじ位置を選択する

(2) ステープルまたはパンチを設定する

- ステープルでとじるときは、「ステープル」メニューでステープル数を選択してください。
- パンチするときは、[パンチ]チェックボックスをクリックして☑にしてください。

(3) [OK]ボタンをクリックする

3

プリントを実行する

2 便利なプリント機能について

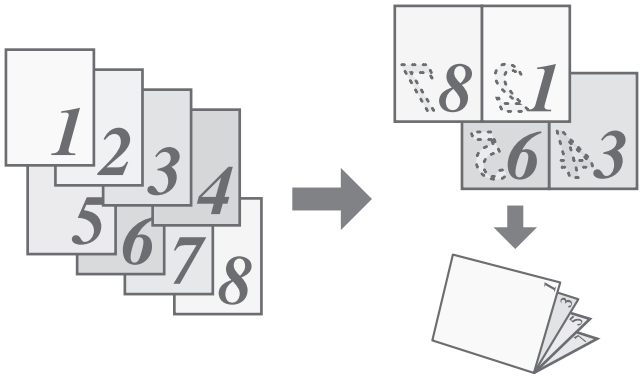
ここでは、プリントする目的に合わせて使える便利な機能について説明します。それぞれの設定方法については、お使いのアプリケーションソフトのプリント画面でプリンタドライバ設定画面を開き、用紙サイズ設定など基本的な設定がされているものとして説明しています。設定が完了したら、プリント画面に戻りプリントを開始してください。
☞ 基本的なプリントのしかた（5ページ）

各プリント方法で使用するプリンタドライバの設定項目についての詳細は、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

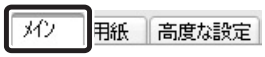
冊子やポスターの作成に役立つ仕上げ機能

中とじの冊子を作る（中とじ）

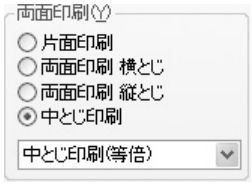
二つ折りにすると、中とじの冊子になるように用紙の表裏にプリントします。プリントした用紙をパンフレットのように製本して仕上げるときに便利です。



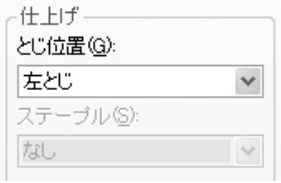
設定方法：



[メイン]タブ上で設定する



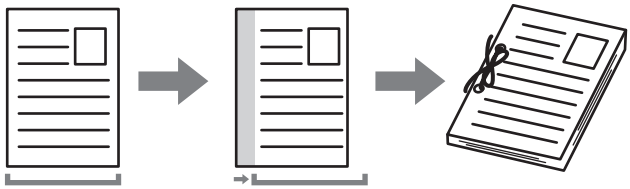
[中とじ印刷]を選択する
プルダウンメニューから中とじ印刷のプリント方法を選択できます。



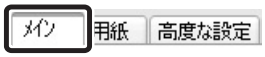
「とじ位置」を選択する

とじしろを作ってプリントする（とじしろ）

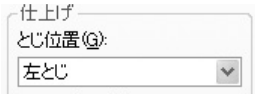
プリントデータを移動させて、用紙の左／右／上のいずれかにとじしろを作ることができます。ステープルでとめたり、パンチ穴をあけて用紙をとじたいが、とじ位置が文字に重なってしまうときなどに便利です。フィニッシャー装着時は、本機のステープル機能やパンチ機能と併せて使うことができます。



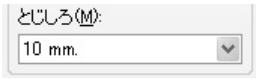
設定方法：



[メイン]タブ上で設定する



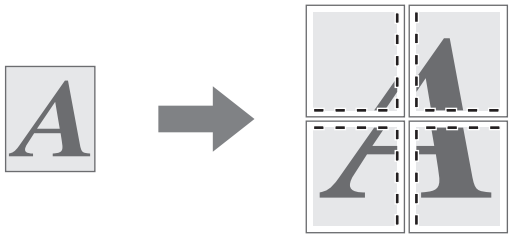
「とじ位置」を選択する



「とじしろ」を選択する

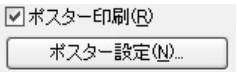
大判のポスターを作る（ポスタープリント）

1ページのプリントデータを拡大して、複数枚の用紙（4枚（2x2）、9枚（3x3）、16枚（4x4））に分割してプリントすることができます。プリント後用紙を貼り合わせることによって、1枚の大判ポスターに仕上がります。各用紙を貼り合わせるときに連結部分を隙間なくきれいに貼り合わせることができるように、境界線をプリントしたり、各用紙に重なり合う部分を作成して（オーバーラップ機能）プリントすることもできます。

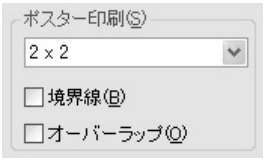


設定方法：

[用紙]タブ上で設定する



[ポスター印刷]チェックボックスをクリックして☑にし、[ポスター設定]ボタンをクリックする

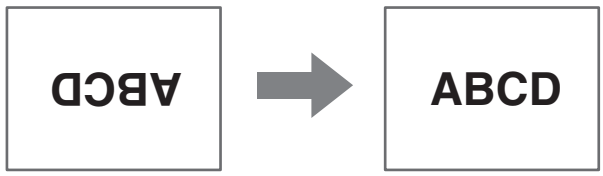


ポスター設定を行う
プルダウンメニューから分割したい枚数を選択します。境界線をプリントしたり、オーバーラップ機能を有効にしたいときは、それぞれのチェックボックスをクリックして☑にしてください。

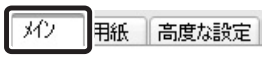
データのサイズや向きなどを補正する機能

データを180度回転させてプリントする（180°回転して印刷）

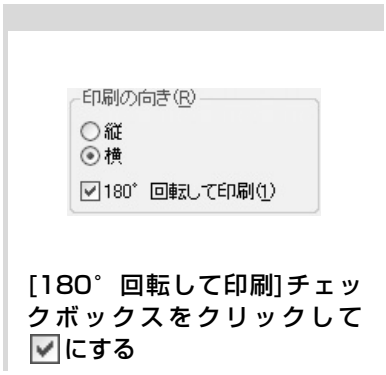
一定の向きでしか本機にセットできない用紙（封筒、パンチ用紙など）に対し、正しくプリントできるように画像の向きを180度回転させることができます。



設定方法：



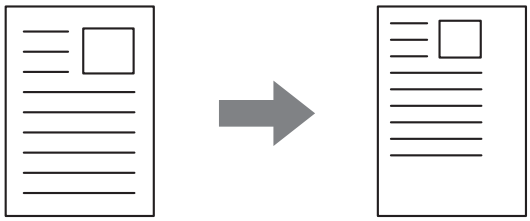
[メイン]タブ上で設定する



[180°回転して印刷]チェックボックスをクリックして☑にする

データを拡大・縮小してプリントする（ズーム）

画像を数値（%）で拡大または縮小してプリントすることができます。画像を少し小さくして用紙に余白を作りたいときや、小さな画像を大きくプリントしたいときに使用します。



設定方法：

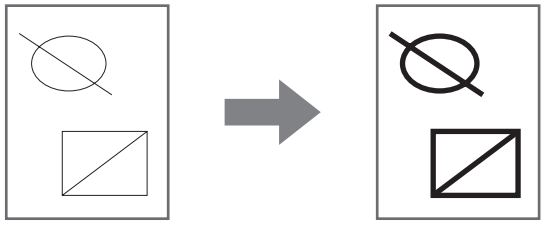
[用紙]タブ上で設定する

[ズーム]を選択して、[設定]ボタンをクリックする
プルダウンメニューから実際にプリントする用紙のサイズを選択できます。

ズーム設定を行う
直接数値（%）を入力するか、▲▼ボタンをクリックして1%刻みで倍率を変更します。

線幅を調節してプリントする（線幅調整）

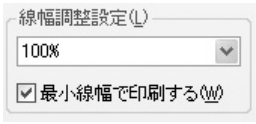
CADなどの特殊用途で線が正しくプリントできないときに、線幅を全体的に太くするなど、ベクターデータの線幅を補正してプリントすることができます。（ビットマップ画像などのラスターデータは補正できません。）また、データ上の幅の異なる線をすべて最小線幅でプリントすることもできます。（白黒プリント時のみ）



設定方法：

（使用できるプリンタドライバはSPDL2-cです。）

[高度な設定]タブ上で設定する



線幅を調整する

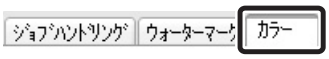
プルダウンメニューから数値（%）を選択します。データ上のすべての線を最小線幅でプリントしたいときは、[最小線幅で印刷する]チェックボックスをクリックして☑にします。

カラーモード調整機能

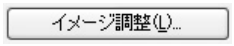
画像の明るさやコントラストを調整してプリントする（イメージ調整）

写真画像などをプリントするときに、プリント時の設定で明るさやコントラストを補正することができます。画像の編集ソフトがお使いのコンピュータにインストールされていないときなど、簡易補正が行えます。

設定方法：



[カラー]タブ上で設定する



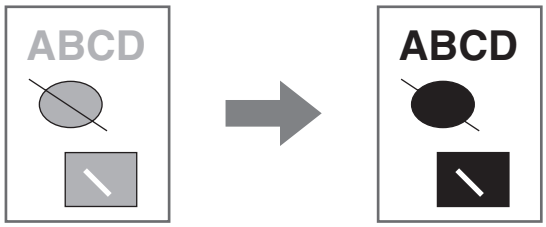
[イメージ調整]ボタンをクリックする

画像調整を行う
各設定値は、スライドバーをドラッグ、または ボタンをクリックして調整します。

薄くて見づらい文字や線を黒色でプリントする（文字を黒色で印刷する／線を黒色で印刷する）

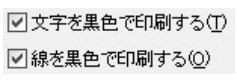
カラーデータをグレースケールでプリントするときに、淡くプリントされるカラーの文字や線を、黒色に変換してプリントすることができます。（ビットマップ画像などのラスターデータは補正できません。）カラーの文字や線がグレースケールプリントでは薄くて見づらい場合に、より見やすくすることができます。

- [文字を黒色で印刷する]を選択すると、白色以外の文字をすべて黒色に変換してプリントできます。
- [線を黒色で印刷する]を選択すると、白色以外の線や面などベクターグラフィック部分をすべて黒色に変換してプリントできます。



設定方法：

[カラー]タブ上で設定する



[文字を黒色で印刷する]または[線を黒色で印刷する]チェックボックスをクリックして にする

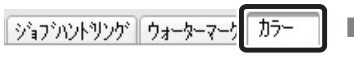
データに応じたカラー設定でプリントする（原稿タイプ）

本機のプリンタドライバには、あらかじめ[グラフィックス]や[写真画像]などの用途に合わせたカラー設定が用意されており、カラー画像の種類によって最適なカラー設定でプリントすることができます。
より詳細なカラー設定を行いたいときは、[高度なカラー設定]ボタンをクリックします。ここではカラーマネージメントに関する設定や色の階調表現を調整できるスクリーン設定など、カラー画像のプリント用途に合わせた詳細設定が行えます。

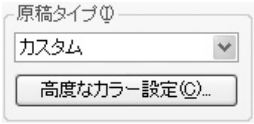
カラーマネージメントに関する詳細な設定を行う場合は、次の項目を設定できます。
- [Windows ICM]チェックボックス：カラーマネージメントの方法
- 「入力プロファイル」：コンピュータの画面上で画像を表示させる際に使用しているカラープロファイルの選択
- 「レンダリングインテント」：コンピュータの画面上で表示されている画像の色合いを本機でプリントできる色合いに変換する際の基準
- 「スクリーン設定」：プリントする画像に最適な画像処理方法を設定できます。
- 「グレー印刷方法」※：グレー部分のプリントに使用するトナー色を指定できます。
- 「プリントモード」※：画質と速度のどちらを優先させてプリントするかを指定できます。

※SPLC-cプリンタドライバでは、設定できません。

設定方法：

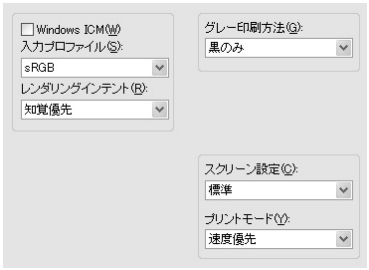


[カラー]タブ上で設定する



カラー画像の種類を選択する
プルダウンメニューから用途に合わせた原稿タイプを選択します。より詳細な設定を行いたいときは、[高度なカラー設定]ボタンをクリックしてください。

高度なカラー設定で、すべての設定を行うには、プルダウンメニューから[カスタム]を選択してから[高度なカラー設定]ボタンをクリックしてください。

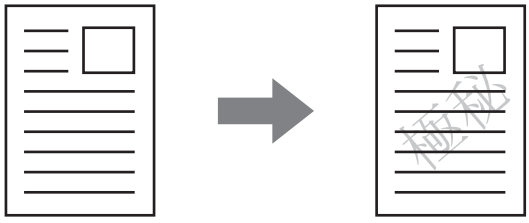


高度なカラー設定を行う
OSの持つWindows ICMを利用してカラーマネージメントを行う場合は、[Windows ICM] チェックボックスをクリックして☑にしてください。「入力プロファイル」など、詳細なカラーマネージメント設定を行う場合は、それぞれのメニューから使用する設定を選択してください。

文字や画像の合成機能

すかし文字を入れてプリントする（ウォーターマーク）

プリントデータの背面に影のように薄く文字を入れてプリントすることができます。ウォーターマークの文字サイズ、カラー、濃度、角度は調整することができます。ウォーターマークはあらかじめ登録されている文字をリストの中から選択することができますが、文字を入力してオリジナルを作成することもできます。



設定方法：

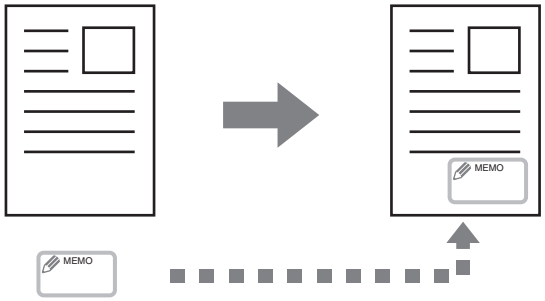
[ウォーターマーク]タブ上で設定する

ウォーターマーク設定を行う
プルダウンメニューから登録されたウォーターマークを選択します。[編集]ボタンをクリックすると、フォントや色の編集など、より詳細な設定を行うことができます。

新しくウォーターマークを作成したいときは…
「テキスト」に文字を入力し、[追加]ボタンをクリックしてください。

画像をデータに重ねてプリントする（イメージスタンプ）

プリントデータの前面に、コンピュータに保存されているビットマップまたはJPEGの画像を重ねてプリントすることができます。イメージスタンプの画像の大きさ、配置位置、角度は調整することができます。よく使う画像や自作のアイコンなどをスタンプを押したようにプリントすることができます。



設定方法：

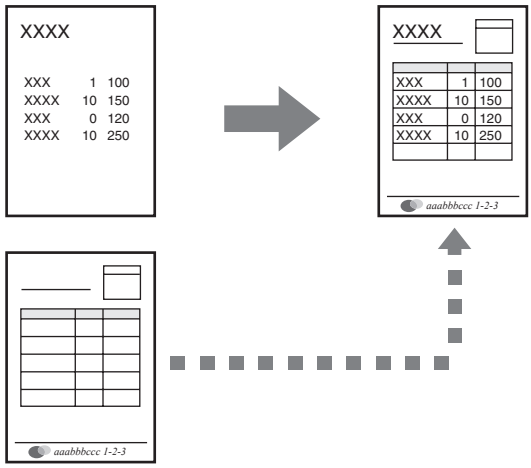
[ウォーターマーク]タブ上で設定する

イメージスタンプ設定を行う
プルダウンメニューから登録されたイメージスタンプを選択します。

新しくイメージスタンプを作成したいときは…
画像ファイルを指定し、[追加]ボタンをクリックしてください。

定型フォームを作成してプリントデータを重ねる（オーバーレイプリント）

あらかじめ用意した定型フォーマットデータの上に重ねてプリントすることができます。テキストデータと異なるアプリケーションソフトで作成した表枠や飾り枠などをオーバーレイファイルとして登録しておくと、複雑な操作を行わなくてもかんたんに見栄えのよいプリント結果を得ることができます。



オーバーレイファイル

設定方法：

（使用できるプリンタドライバはSPDL2-cです。）

オーバーレイファイルを作成する

[高度な設定]タブ上で設定する
オーバーレイ用に作成したいアプリケーションソフトからプリンタドライバ設定を行ってください。

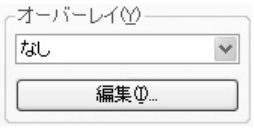
[編集]ボタンをクリックする

オーバーレイファイルを作成する
[新規作成]ボタンをクリックし、作成したいオーバーレイファイルの名前と保存先を指定します。設定を完了し、プリントを開始すると、オーバーレイファイルが作成されます。

- プリントを開始すると、確認メッセージが表示されます。[はい]ボタンをクリックするまでオーバーレイファイルは作成されません。
- [登録] ボタンをクリックすると、既存のオーバーレイファイルを登録することができます。

オーバーレイファイルを使用してプリントする

[高度な設定]タブ上で設定する
オーバーレイファイルを使ってプリントしたいアプリケーションソフトからプリンタドライバ設定を行ってください。



オーバーレイファイルを選択する
プルダウンメニューからあらかじめ作成または登録したオーバーレイファイルを選択します。

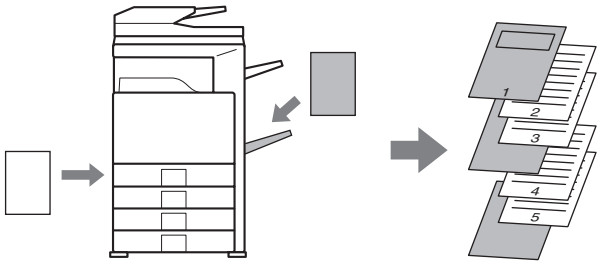
特殊な用途に使えるプリント機能

プリンタドライバ設定画面[用紙]タブの「特別機能」には、特殊な用途に使えるプリント機能がまとめられています。[設定]ボタンをクリックすると、選択したプリント機能の設定画面が表示されます。

- 「特別機能」のプリント機能を使用しないときは、[なし]を選択した状態にしてください。
- 使用できる機能は、プリンタドライバの種類によって異なります。

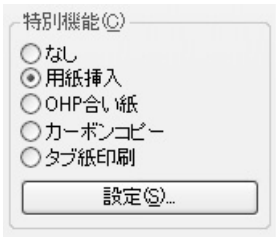
特定のページを異なる用紙でプリントする（用紙挿入）

文書の表紙、裏表紙、または特定のページを、他のページと異なる用紙でプリントすることができます。表紙と裏表紙だけ厚紙にプリントしたいときや、指定したページに色紙など別の用紙を挿入したいときに使用します。挿入する用紙にはプリントせず合い紙として挿入することもできます。(SPLC-cプリンタドライバでは表紙のみ挿入できます。)

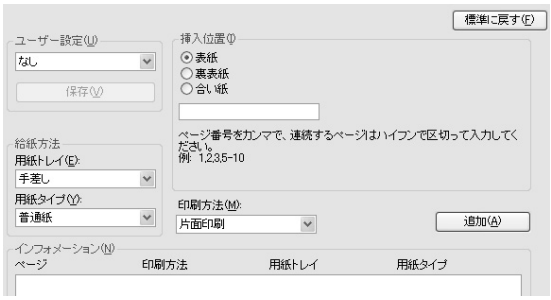


設定方法：

[用紙]タブ上で設定する



[用紙挿入]を選択し、[設定]ボタンをクリックする



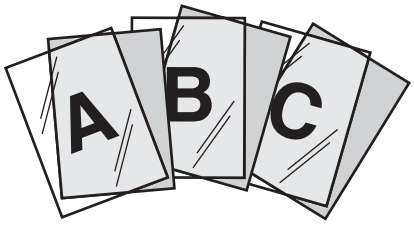
用紙挿入設定を行う

用紙を挿入する位置、挿入する用紙の給紙方法と印刷方法をそれぞれのメニューから設定してください。[追加]ボタンをクリックすると、設定した内容が「インフォメーション」に表示されます。設定が完了したら、「ユーザー設定」にある[保存]ボタンをクリックし、設定した内容を保存してください。

「給紙方法」の「用紙トレイ」から[手差し]を選択したときは、必ず「用紙タイプ」も選択してください。

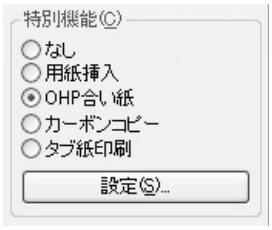
OHPフィルムにプリントするときに合い紙を挿入する

OHPフィルムにプリントする際、用紙を1枚はさむことによりOHPフィルムどうしが貼り付くのをふせぐ機能です。挿入する用紙には、OHPフィルムにプリントした内容と同じ内容をプリントすることもできます。

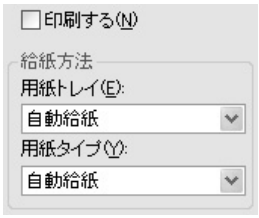


設定方法：

[用紙]タブ上で設定する



[OHP合い紙]を選択し、[設定]ボタンをクリックする



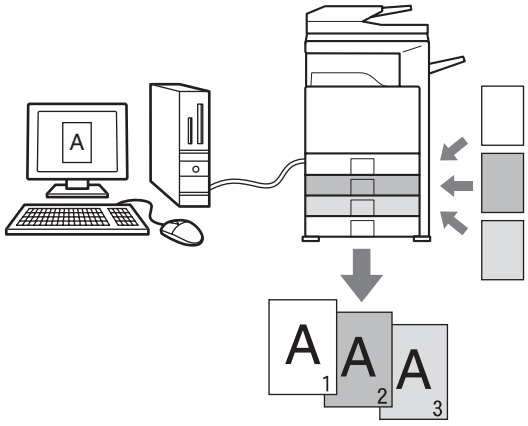
OHP合い紙設定を行う

[印刷する]チェックボックスをクリックして☑にすると、OHP用紙と同じ文書を合い紙にプリントできます。必要に応じて、給紙方法を設定してください。

「用紙トレイ」から[手差し]を選択したときは、必ず「用紙タイプ」も選択してください。

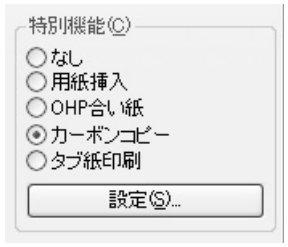
複写伝票のようにプリントする（カーボンコピープリント）

本機の複数のトレイにセットされた同一サイズの用紙に、同一データをプリントする機能です。
たとえば、本機のトレイ1に標準紙、トレイ2に色紙をセットしてカーボンコピープリントを実行すれば、一度のプリント指示で、複写式の伝票のようなプリント結果を得ることができます。また、トレイ1に標準紙、トレイ2に再生紙をセットしてカーボンコピープリントを行うことにより、提出用と控え用の印刷物を同時に得るといった使いかたも可能です。

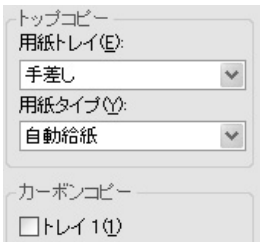


設定方法：
（使用できるプリンタドライバはSPDL2-cです。）

[用紙]タブ上で設定する



[カーボンコピー]を選択し、[設定]ボタンをクリックする



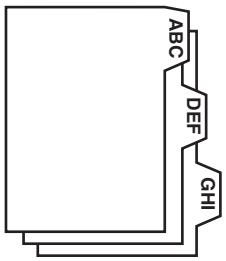
カーボンコピー設定を行う

最初にプリントするトレイを「トップコピー」から選択し、2枚目以降にプリントするトレイを「カーボンコピー」から選択します。

手差しトレイを選択したときは、必ず「用紙タイプ」も選択してください。

タブ用紙のタブに文字をプリントする（タブプリント）

タブ用紙のタブ部分に文字をプリントする機能です。



アプリケーションソフトでタブ用データを作成してプリントする
タブ部分にプリントしたい文字列データをアプリケーションソフトで作成したあと、プリンタドライバ設定画面[高度な設定]タブの[タブ紙設定]で、データをどれだけ移動させるか設定することでタブ部分にプリントすることができます。

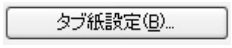
プリンタドライバでタブ用データを作成してプリントする
プリンタドライバ設定画面[用紙]タブの[タブ紙印刷]で、タブ部分にプリントする文字列を入力することができ、タブ部分の大きさや開始位置、次のタブまでの間隔、タブ用紙を挿入するページ番号など、詳細な設定ができます。

設定方法：

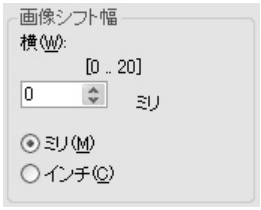
（使用できるプリンタドライバはSPDL2-cです。）

アプリケーションソフトでタブ用データを作成してプリントする

[高度な設定]タブ上で設定する



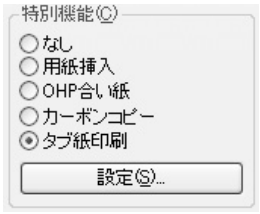
[タブ紙設定]ボタンをクリックする



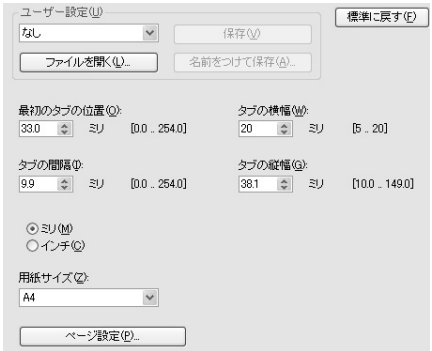
タブ紙設定を行う
画像を移動させる幅を直接数値で入力するか、▲▼ボタンをクリックして変更します。

プリンタドライバでタブ用データを作成してプリントする

[用紙]タブ上で設定する



[タブ紙印刷]を選択し、[設定]ボタンをクリックする



タブ紙設定を行う
最初のタブの位置、タブの間隔、タブの縦幅と横幅を直接入力するか、▲▼ボタンをクリックして変更します。また、「用紙サイズ」からプリントするタブ紙の用紙サイズを選択できます。タブ紙にプリントするテキストや挿入するページを設定したいときは、[ページ設定]ボタンをクリックしてください。

「ユーザー設定」でタブ紙設定の内容を保存したり、保存したファイルを開くことができます。

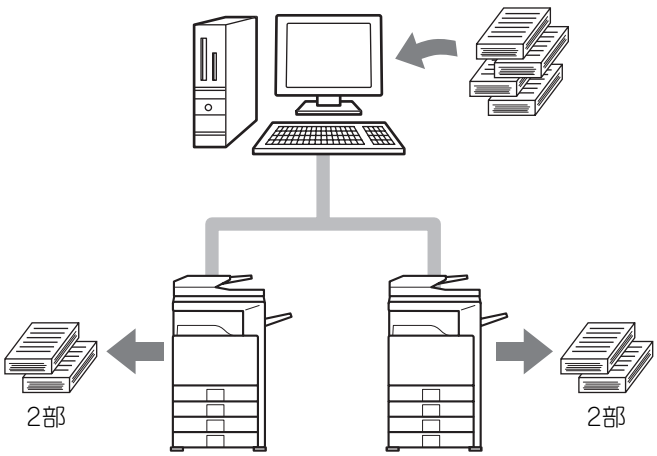
知っておくと便利なプリント機能

大量のプリントデータを2台に分けてプリントする（タンデムプリント）

この機能を使用するには、本機が2台必要です。
ネットワークに接続された2台の本機を使用して、大量のプリント作業を同時に行うことができます。
各台でのプリントが半分で済むため、大量の部数をプリントするときにプリント処理時間を短縮できます。
タンデムプリントを行うには、本機のシステム設定（管理者）「タンデム接続設定」で登録されている相手機のIPアドレスをプリンタドライバに登録する必要があります。プリンタドライバの[オプション]タブで[オプション自動設定]ボタンをクリックすると自動で登録できます。

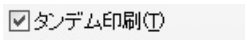
タンデムプリントは、プリンタドライバインストール時に「標準インストール」または「カスタムインストール」で[LPRダイレクト]を選択してインストールした場合のみ使用できます。

例：4部プリントする



設定方法：
（使用できるプリンタドライバはSPDL2-cです。）

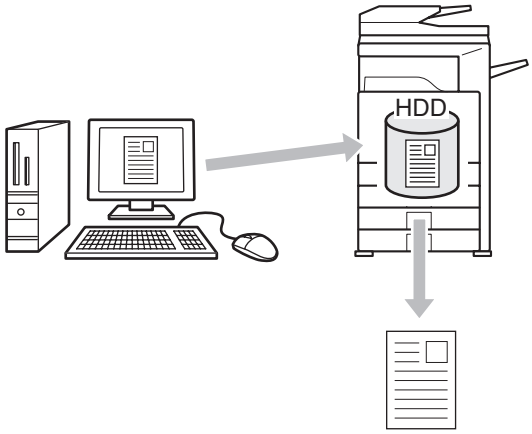
[高度な設定]タブ上で設定する



[タンデム印刷]チェックボックスをクリックして☑にする

プリントデータを保存して使用する（リテンション／ドキュメントファイリング）

プリントデータを本機内蔵のハードディスクに保存し、必要なときに本機の操作パネルからプリントできる機能です。保存場所の指定もでき、他のユーザーのプリントデータとの混在を防ぎます。
また、コンピュータからプリントするときにパスワード（5～8桁の暗証番号）を設定すると、保存されたデータの機密保持を高めることができます。
パスワード設定時、本機から保存されたデータをプリントするときはパスワードの入力が必要となります。

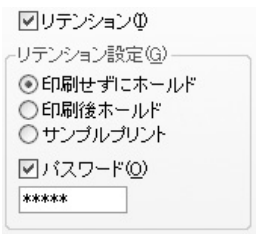


印刷せずにホールド
データをプリントせずに本機のハードディスクに保存します。
印刷後ホールド
データをプリントし、プリントデータをハードディスクに保存します。
サンプルプリント
複数部プリントするときに、1部だけプリントされます。プリント内容を確認後、残りの部数を本機の操作でプリントできるので、大量のミスプリントを防げます。

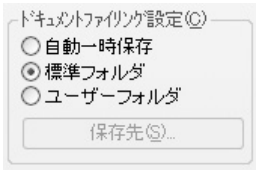
本機のハードディスクに保存されたデータをプリントする方法については、ドキュメントファイリングガイドを参照してください。

設定方法：

[ジョブハンドリング]タブ上で設定する



リテンション設定を行う
[リテンション]チェックボックスをクリックして☑にしてください。「リテンション設定」でプリントデータの保存方法を選択できます。[パスワード]チェックボックスをクリックして☑にすると、パスワード（5～8桁の暗証番号）を入力することができます。



ドキュメントファイリング設定を行う
「ドキュメントファイリング設定」で保存先を選択します。[ユーザーフォルダ]を選択した場合は、[保存先]ボタンでフォルダ名を選択することができます。

- [自動一時保存]を選択すると、「リテンション設定」は[印刷後ホールド]のみに設定されます。
- [自動一時保存]を選択すると、「リテンション設定」で入力したパスワードは解除され使用できません。
- ユーザーフォルダに保存する場合は、あらかじめ本機のシステム設定（管理者）「ドキュメントファイリング登録」でユーザーフォルダを作成しておく必要があります。ユーザーフォルダにパスワードが設定されている場合は、保存先選択画面で「フォルダパスワード」を入力してください。

よく使うプリント設定を登録して使用する

プリント時に各タブで設定した内容はユーザー設定として登録することができます。よく使用する設定や複雑なカラー設定を行った場合などに名前を付けて登録しておくと、次に同じ設定でプリントしたいときに操作がかんたんです。

プリント時に設定した内容を登録する

登録操作はプリンタドライバ設定画面のどのタブからも行うことができます。各タブで設定した内容は登録時に一覧表示されるので、設定内容を確認しながら登録することができます。

1

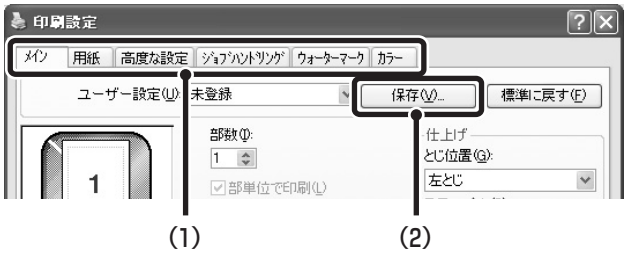
アプリケーションソフトのプリント画面でプリンタドライバの設定画面を開く

(1) 本機のプリンタドライバを選択する

(2) [詳細設定]ボタンをクリックする

プリンタドライバの設定画面を開くためのボタンは、[プロパティ]や[印刷設定]など、お使いのアプリケーションソフトによって異なります。

2

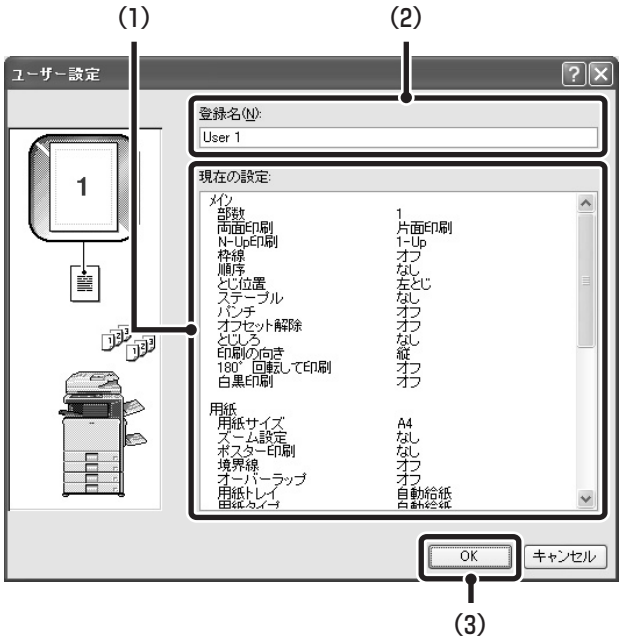


プリント設定を登録する

(1) 各タブでプリント設定を行う

(2) [保存]ボタンをクリックする

3



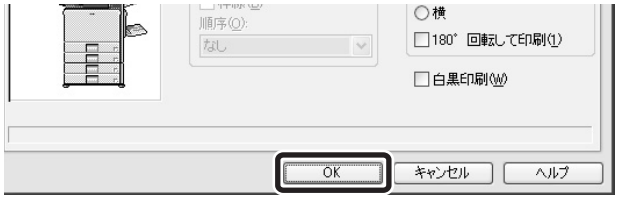
設定内容を確認して登録する

(1) 表示された設定内容を確認する

(2) 登録名を10文字（半角20文字）以内で入力する

(3) [OK]ボタンをクリックする

4



[OK]ボタンをクリックする

5

プリントを実行する

- ユーザー設定は最大30件登録できます。
- ユーザー設定には次の項目を登録することはできません。
  - 作成したウォーターマークの内容
  - 用紙挿入設定の設定内容
  - オーバーレイファイル
  - [用紙]タブの[タブ紙印刷]の設定内容（SPDL2-cのみ）
  - [ジョブハンドリング]タブで入力したログイン名、パスワード、ユーザー名、ジョブ名

登録した設定を使用してプリントする

1

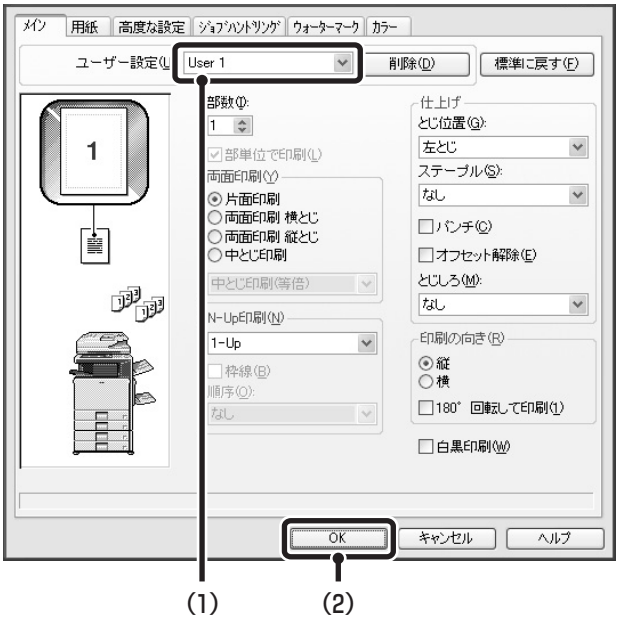
アプリケーションソフトのプリント画面でプリンタドライバの設定画面を開く

(1) 本機のプリンタドライバを選択する

(2) [詳細設定]ボタンをクリックする

プリンタドライバの設定画面を開くためのボタンは、[プロパティ]や[印刷設定]など、お使いのアプリケーションソフトによって異なります。

2



プリント設定を選択する

(1) 使用するユーザー設定を選択する

(2) [OK]ボタンをクリックする

3

プリントを実行する

登録した設定を削除するときは

上記手順2の画面で削除するユーザー設定を選択し、[削除]ボタンをクリックしてください。

プリンタドライバの初期設定値を変更する

プリンタドライバの初期設定値は、次の手順で変更することができます。ここで設定した内容は保存され、アプリケーションソフトからプリントするときの初期設定になります。（アプリケーションソフトからプリント時にプリンタドライバの設定画面で変更した内容は、アプリケーションソフトを終了すると無効になります。）

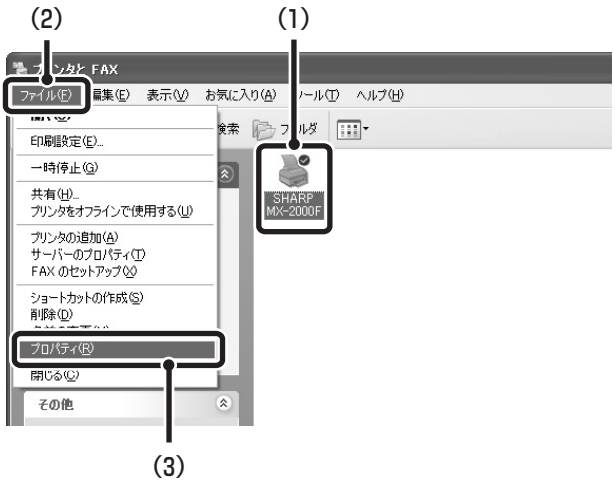
1

[スタート]ボタンをクリックし、[プリンタとFAX]をクリックする

Windows 98/Me/NT 4.0/2000をお使いの場合は、[スタート]ボタンをクリックし、[設定]→[プリンタ]を選択してください。

Windows XPをお使いの場合、[スタート]メニューに[プリンタとFAX]が現れない場合は、[コントロールパネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[プリンタとFAX]の順に選択してください。

2



プリンタのプロパティ画面を開く

(1) 本機のプリンタドライバアイコンをクリックする

(2) [ファイル]メニューをクリックする

(3) [プロパティ]を選択する

Windows NT 4.0をお使いの場合は、[ファイル]メニューから[ドキュメントの既定値]を選択するとプリンタドライバの設定画面が表示されます。手順4へお進みください。

3

[全般]タブの[印刷設定]ボタンをクリックする

Windows 98/Meをお使いの場合は、[ドライバ設定]タブをクリックしてください。

4

各項目を設定し、[OK]ボタンをクリックする

設定項目については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

3 プリンタドライバを介さずにプリントする

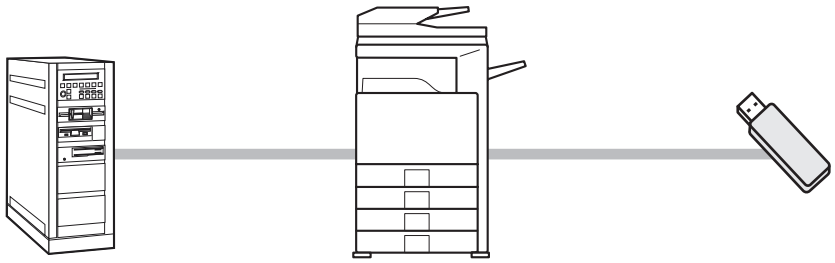
お使いのコンピュータにプリンタドライバがインストールされていない場合や、プリントしたいファイルのアプリケーションソフトがない場合など、プリンタドライバを介さずに本機に直接プリントすることができます。
直接プリントできるファイルの種類とその拡張子は次のとおりです。

ファイルの種類	TIFF	JPEG	PCL
拡張子	tiff、tif	jpeg、jpg、jpe、jfif	pcl

- プリント結果が白黒であっても、下記のようなプリントデータは、Y（イエロー）・M（マゼンタ）・C（シアン）・Bk（ブラック）の4色のカラーとしてカウントされます。常に白黒としてカウントしたいときは、白黒印刷を選択してください。
  - データがカラーデータとして作成されているとき
  - データが白黒であっても、アプリケーションソフトがカラーデータとして扱うとき
  - 白黒画像の下に画像が隠れているとき
- これらの機能を使用するには、プリンタ拡張キットを装着する必要があります。
- 上の表に記載しているファイルの中でも、ファイル形式によってはプリントできない場合があります。

本機からファイルを直接プリントする

FTPサーバ上のファイルや、本機に接続したUSBメモリー内のファイルを、プリンタドライバを介さず本機の操作パネルから指定してプリントすることができます。



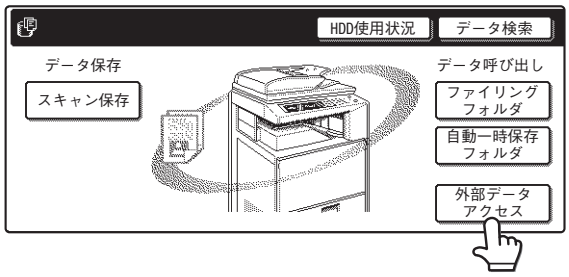
FTPサーバ上のファイルを直接プリントする

本機のWebページでFTPサーバの登録を行うと、本機の操作パネルからFTPサーバ上のファイルを指定してプリントすることができ、ファイルをダウンロードしてコンピュータからプリントするといった手間が省けます。

FTPサーバの設定は、Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[FTPプリント設定]をクリックして「本体操作パネルからのFTPプリント設定」で行います。（管理者権限が必要です。）

1 ドキュメントファイリング **[ドキュメントファイリング]キーを押す**

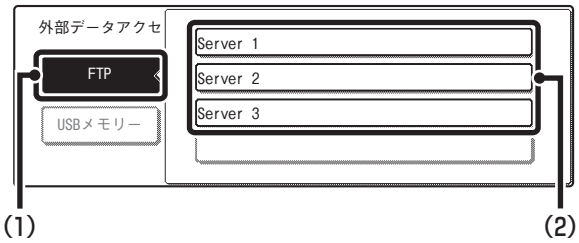
2



[外部データアクセス]キーをタッチする

FTPサーバが登録されていない場合、[外部データアクセス]キーはタッチできません。

3

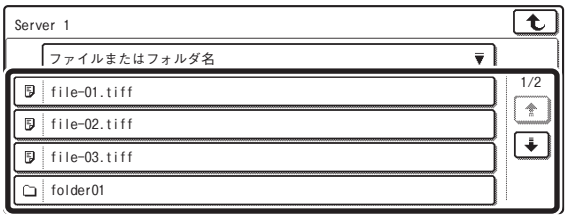


FTPサーバにアクセスする

(1) [FTP]キーをタッチする

(2) アクセスするFTPサーバのキーをタッチする

4

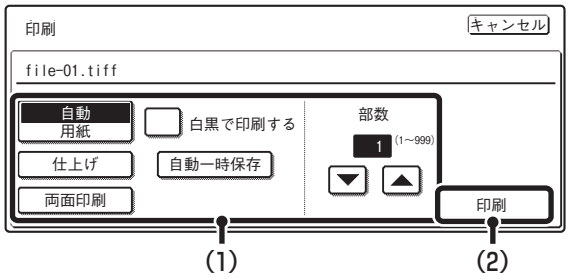


プリントするファイルのキーをタッチする

- プリントできるファイルは、キーの左側にアイコンが表示されます。
- FTPサーバ上のフォルダは、キーの左側にアイコンが表示されます。フォルダ内のファイルやフォルダを表示させるときは、このキーをタッチしてください。

- ファイルやフォルダは合わせて100個まで表示できます。
- 1階層上の画面に戻るときは、[←] キーをタッチしてください。
- フォルダのキーをタッチして階層を下がると、画面右上に [↑←] キーが表示されます。最上層（選択したFTPサーバの第1階層）に戻るときは、このキーをタッチしてください。
- 画面に表示されているファイルやフォルダの並び順を変更したいときは、[ファイルまたはフォルダ名]キー（または[ファイル名]キー）をタッチしてください。タッチするごとに昇順、降順の順に切り替わります。

5



選択したファイルをプリントする

(1) プリント条件を設定する

手順4でプリント条件が含まれているファイル（PCL）を選択したときは、ファイルが持つ設定が適用されます。

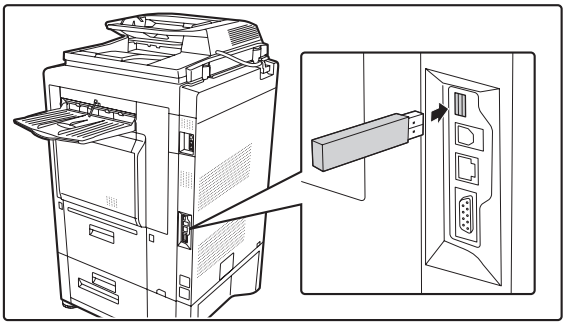
(2) [印刷]キーをタッチする

プリントが実行されます。タッチパネルに「プリントを予約しました。･･･」とメッセージが表示されたら、[OK]キーをタッチしてください。

USBメモリー内のファイルを直接プリントする

本機に接続したUSBメモリー内のファイルを、プリンタドライバを介さず本機の操作でプリントすることができます。お使いのコンピュータに本機のプリンタドライバがインストールされていないときなど、市販のUSBメモリーにデータをコピーして本機に接続することにより、直接プリントすることができます。

1



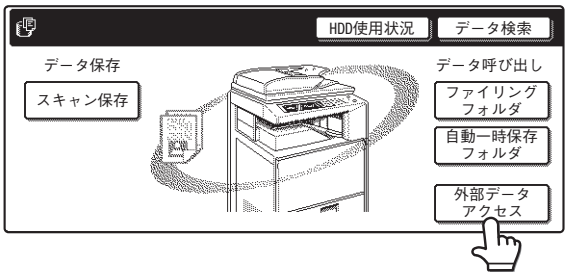
USBメモリーを本機に接続する

使用できるUSBメモリーについては販売店にお問い合わせください。

2

[ドキュメントファイリング]キーを押す

3



[外部データアクセス]キーをタッチする

USBメモリーが正しく接続されていないときは、[外部データアクセス]キーはタッチできません。

4

[USBメモリー]キーをタッチする

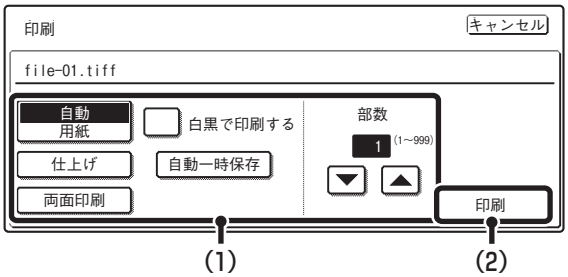
5

プリントするファイルのキーをタッチする

USBメモリー内のプリント可能なファイルが最大100個まで表示されます。

- 手順4の画面に戻るときは、[戻る]キーをタッチしてください。
- USBメモリー内のフォルダの中にあるファイルは表示されません。
- 画面に表示されているファイルの並び順を変更したいときは、[ファイル名]キーをタッチしてください。タッチするごとに昇順、降順の順に切り替わります。

6



選択したファイルをプリントする

(1) プリント条件を設定する

手順5でプリント条件が含まれているファイル（PCL）を選択したときは、ファイルが持つ設定が適用されます。

(2) [印刷]キーをタッチする

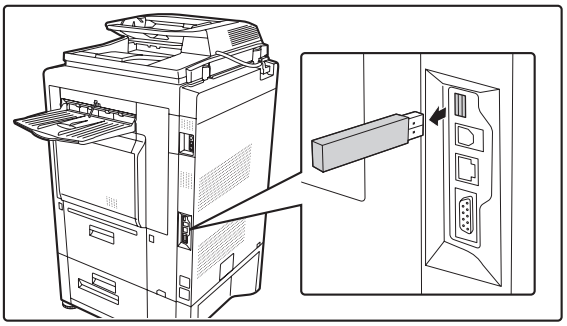
選択したファイルの転送が完了後、プリントが実行されます。

タッチパネルに「プリントを予約しました。･･･」とメッセージが表示されたら、[OK]キーをタッチしてください。

プリントを中止するには…

ファイルの転送中にプリントを中止するときは、タッチパネルに表示されたメッセージ画面の[キャンセル]キーをタッチしてください。

7



USBメモリーを本機から抜き取る

コンピュータからファイルを直接プリントする

本機のWebページで設定を行うことによって、コンピュータからプリンタドライバを介さずにファイルを直接プリントすることができます。

プリントジョブの送信

ファイルを指定することにより、プリンタドライバを介さず直接プリントすることができます。
お使いのコンピュータ上のファイルだけでなく、同一ネットワークに接続された他のコンピュータのファイルなど、コンピュータからアクセスできるファイルであればプリントすることができます。
コンピュータ上のファイルを直接プリントするには、Webページのメニューにある[ファイル操作]→[プリントジョブの送信]をクリックして行います。

FTPプリント

お使いのコンピュータから、本機のFTPサーバにプリントしたいファイルをドラッグアンドドロップするだけで簡単にプリントすることができます。

- **設定する**
  FTPプリントを行うには、Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[FTPプリント設定]をクリックして「クライアントPCからのFTPプリント設定」でFTPプリントを有効にし、ポート番号を設定します。（管理者権限が必要です。）

- **FTPプリントを行う**
  お使いのコンピュータのWebブラウザのアドレス欄に、次のように「ftp://」のあとに本機のIPアドレスを入力します。
  （例）
  ftp://192.168.1.28

Webブラウザの画面に表示される「lp」フォルダの中に、プリントしたいファイルをドラッグアンドドロップすると、自動的にプリントが始まります。

- プリント条件が含まれているファイル（PCL）をプリントしたときは、ファイルが持つ設定が適用されます。
- 本機のシステム設定（管理者）でユーザー認証機能が設定されている場合、プリント機能が制限されることがあります。詳しくは、システム設定ガイドの「ユーザー管理」を参照してください。

E-mailプリント

本機にE-mailアカウントを登録することにより、メールサーバを定期的に確認し、受信メールに添付されたファイルをプリンタドライバを介さず自動でプリントすることができます。

• 設定する

E-mailプリントを行うには、Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[E-mailプリント設定]をクリックして本機にE-mailアカウントを登録する必要があります。（管理者権限が必要です。）

• E-mailプリントを行う

お使いのコンピュータのE-mailソフトで、「宛先」を本機のメールアドレスに指定し、プリントするファイルを添付して送信します。

プリント部数やプリント形式は、メールのテキスト入力部に制御コマンドを入力して指定します。制御コマンドを入力するときは、「コマンド名=値」と入力します。

制御コマンドには次のものがあります。

機能	コマンド名	値
部数	COPIES	1～999
ステープル	JOBSTAPLE	STAPLENO、STAPLELEFT、STAPLETWO
パンチ	PUNCH	OFF、ON
仕上げ	COLLATE	OFF、ON
両面プリント	DUPLEX	OFF、TOP、LEFT、RIGHT
部門番号※	ACCOUNTNUMBER	5～8桁の番号
ファイル形式	LANGUAGE	PCL、PCLXL、TIFF、JPG
用紙	PAPER	使用できる用紙名（A4など）
ドキュメントファイリング	FILE	OFF、ON
	FOLDERNAME	全角15文字（半角30文字）
自動一時保存	QUICKFILE	OFF、ON
排紙トレイ	OUTTRAY	CENTER、RIGHT、FINISHER
白黒で印刷する	B/W PRINT	OFF、ON

※ ユーザー番号方式以外で認証する場合は省略できます。

入力例

```
COPIES=2
DUPLEX=LEFT
ACCOUNTNUMBER=11111
PAPER=A4
B/W PRINT=ON
```

- メール本文の形式は、テキスト形式を指定して送信してください。リッチテキスト形式（HTML形式）で送信した場合、入力した制御コマンドは無効になります。
- メール本文に「Config」と入力して送信すると、制御コマンドの一覧表が返信されます。
- メール本文に何も入力しないで送信すると、本機のシステム設定「プリンタ初期設定」の設定内容に基づいてプリントされます。プリント条件が含まれているファイル（PCL）をプリントしたときは、ファイルが持つ設定が適用されます。
- 「ファイル形式」は、ページ記述言語を指定する場合のみ記述してください。通常は記述する必要はありません。

4 こんなときは

優先的にプリントする／プリントを中止する

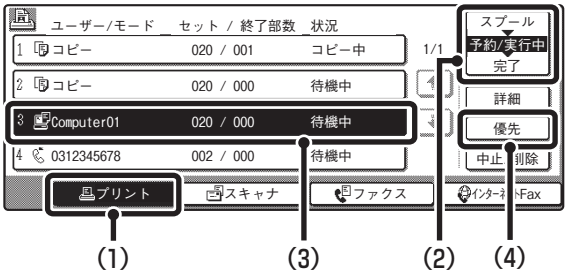
優先的にプリントする

コピー中やファクス受信データプリント中にプリントジョブが待機しているとき、以下の手順で待機中のプリントジョブを優先してプリントさせることができます。

1

[ジョブ状況]キーを押す

2



優先操作を行う

(1) [プリント]キーをタッチする

(2) プリントジョブ状況のモードを[予約/実行中]に切り替える

タッチするごとにモードが切り替わります。選択されているモードが反転表示しています。

(3) 優先したいプリントジョブのキーをタッチする

(4) [優先]キーをタッチする

プリント中のジョブを中断し、(3)で選択したジョブのプリントを開始します。

[詳細]キーをタッチすると、選択したジョブのプリント情報を確認することができます。

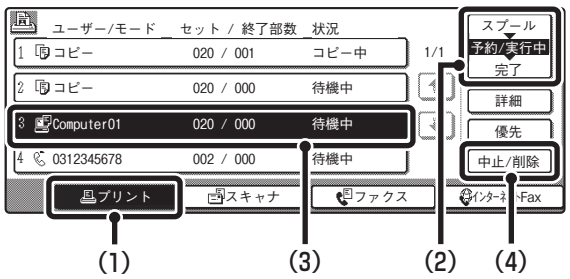
プリントを中止する

プリント中やプリント待機中のジョブ、またはスプールされているジョブを中止することができます。

1

[ジョブ状況]キーを押す

2



中止操作を行う

(1) [プリント]キーをタッチする

(2) プリントジョブ状況のモードを [スプール] または[予約/実行中]に切り替える

タッチするごとにモードが切り替わります。選択されているモードが反転表示しています。

(3) 中止するプリントジョブのキーをタッチする

(4) [中止/削除]キーをタッチする

(5) 確認メッセージが表示されるので [中止する] キーをタッチする

選んだプリントジョブのキーが削除され、プリントが中止されます。

操作パネルの[ストップ]キー（◎）でプリントを中止することもできます。[ストップ]キー（◎）を押すと、ジョブ中止の確認メッセージ画面が表示されます。

選んだプリントジョブを中止しないときは…

(5) の操作で[中止しない]キーをタッチしてください。

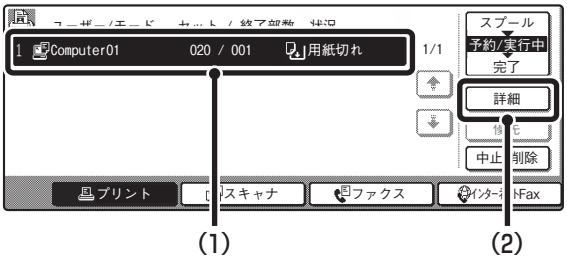
用紙切れのときに他の用紙サイズに切り替えてプリントする

用紙がなくなって途中でプリントが中断しているときや、プリンタドライバで指定したサイズの用紙が本機にセットされていないときは、タッチパネルにメッセージが表示されます。[OK]キーをタッチし、本機に用紙をセットすると、自動的にプリントが開始されます。プリントしたいサイズの用紙がすぐに用意できないなどの理由から、他のトレイにセットされている用紙からプリントする場合は、次の操作を行ってください。

1

[ジョブ状況]キーを押す

2



用紙切れプリントジョブの詳細を表示する

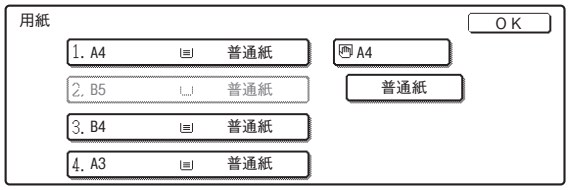
(1)「用紙切れ」と表示されたジョブのキーをタッチする

(2) [詳細]キーをタッチする

3

[用紙]キーをタッチする

4



プリントしたい用紙がセットされたトレイのキーをタッチする

プリントが実行されます。

他の用紙サイズに切り替えてプリントした場合、文字などが用紙からはみ出した状態でプリントされるなど、正常にプリントできない場合があります。

5 プリンタドライバの仕様

プリンタドライバ仕様一覧

機能			SPLC-c※1	SPDL2-c
よく使う機能	部数		1～999	1～999
	印刷の向き		○	○
	N-Up	ページ数	2、4、6、8、9、16	2、4、6、8、9、16
		順序	選択可能	選択可能
		枠線	あり／なし	あり／なし
	両面印刷		○	○
	フィットページ		○	○
	とじ位置		選択可能	選択可能
	白黒印刷		○	○
	ステープル※2		○	○
	パンチ※2		○	○
用紙	用紙サイズ		○	○
	カスタム用紙		1サイズ	1サイズ
	給紙方法		○	○
	排紙トレイ		○	○
便利な機能	中とじ		○	○
	とじしろ		10mm／20mm／30mm	10mm／20mm／30mm
	ポスター印刷		○	○
	180° 回転して印刷		○	○
	ズーム		○	○
	線幅調整		×	○

機能		SPLC-c※1	SPDL2-c
特殊な機能	用紙挿入	○※3	○
	OHP合い紙	○	○
	カーボンコピープリント	×	○
	タブプリント	×	○
	タンデムプリント	×	○
	リテンション	○	○
	ドキュメントファイリング	○	○
カラーモード調整機能	イメージ調整	○	○
	文字を黒色で印刷する／線を黒色で印刷する	○	○
	原稿タイプ	○	○
文字や画像の合成機能	ウォーターマーク	○	○
	イメージスタンプ	○	○
	オーバーレイ	×	○
画質	解像度	600x600 dpi/300x300 dpi	600x600 dpi/300x300 dpi
	グラフィックスモード選択	×	○
	トナーセーブ※4	×	○
フォント	使用可能内蔵フォント	×	80書体
	選択できるダウンロード形式	×	bitmap,TrueType,Graphics
その他の機能	オプション自動設定	○	○
	ユーザー認証	○	○

※1　Windows NT 4.0では使用できません。
※2　フィニッシャー装着時（パンチ機能を使用する場合は、パンチユニットの装着も必要です。）
※3　表紙以外には挿入できません。
※4　OSやアプリケーションソフトによって、本機能がはたらかない場合があります。

プリンタガイド

形名： MX-2000F

SHARP

シャープホームページ　http://www.sharp.co.jp/

MX2000-JP-PRT-Z1